

CENTENARY

2009. 5. 12
第 24 号
兵庫県立加古川西高等学校



文武両道による人格の形成

第十四号

教育合宿

四月末の三日間、一年の教育合宿が国立淡路青少年交流の家にて実施されました。三二〇名全員が元気に参加し、「自主・自律・協力」を目標として「自学自習」「学習の意義」「集団訓練・校歌」の各研修に精一杯取り組みました。また、集団生活をを通して、基本的な生活習慣や挨拶・マナーを身につけるなど、西高生のあるべき姿を目指しました。



入所式 (in 淡路)



自学自習

自学自習

自分で事前に立てた計画に基づき、自分で用意した教材を使って、一日六時間の自主学習を行いました。

「長時間の学習に耐えられるか心配だったが、あつという間に時間が過ぎた」「周りが一生懸命に取り組んでいるので、自分も集中して学習することができた」「自分の力に応じた学習が自分のペースで進められ、弱点の克服につながった」などの感想が聞けました。

集団訓練

最終日の「集団訓練・校歌発表会」に向けて、各クラスともリーダーを中心に工夫を凝らし、自主的に練習する姿が至るところで見受けられました。

初めの内は苦手意識で、気乗りがしなかった人も、二日目の後半にもなると、「もっと練習したい、もっと上手に表現したい」という声に至るところで聞こえるようになりました。



集団行動

閉会式で、各クラスのリーダーから寄せられた感想を紹介します。「クラスの仲間に協力してもらい、感謝している」「みんなの心が一つになってよかった」「一生懸命に練習して上達していくのが楽しかった」



集団行動

この合宿の最大の成果は、「心のこもった気持ちのよい挨拶」ができる人が増えたこと、「何事も明るく前向きに取り組むこと」で、大きな成果と喜びを得ることができるといふことを学んだことではないでしょうか。

ちょっと一言 教育合宿では「ヘレンケラー」のビデオを視聴し、「学ぶとは何か」について考え、グループ討論を行いました。「学ぶということは、勉強して多くのことを知り、自分の人生を楽しくしていくためのものだと感じた」「学ぶということは、心を作ったり、人として生きるために必要不可欠なことだ。学ばなければ、心を豊かにしたり、社会性を身につけることはできない」「勉強する・学ぶということは、とても素晴らしいことだと気付いた」など、学習の意義について考えを広げました。また、「科学的学習法」についても学びました。